



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ  
コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 神野 晴年

(氏名) 桑野 純也

TEL 03-5114-5800

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日

平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	6,859	7.0	110	—	114	—	42	—
27年3月期第2四半期	6,410	△8.2	△148	—	△144	—	△119	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	8.96	—
27年3月期第2四半期	△25.39	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年3月期第2四半期	8,372	—	5,344	—	63.8	1,136.54
27年3月期	8,624	—	5,375	—	62.3	1,143.13

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 5,344百万円 27年3月期 5,375百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	20.00	—	15.00	35.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	7.8	450	—	450	—	200	—	42.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	4,703,063 株	27年3月期	4,703,063 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	484 株	27年3月期	448 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	4,702,598 株	27年3月期2Q	4,702,615 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期の国内景気は、前半は緩やかな回復基調が続いていましたが、夏場以降は中国経済をはじめとするアジア新興国等の景気の下振れ懸念もあり、一部に弱い動きが見られるようになりました。企業収益は全般的に改善しているものの、先行きには一部慎重さも見られるようになりました。小売業界につきましては、消費増税後の反動減が一巡し、資産効果やインバウンド需要の寄与により好業績となったところもある反面、消費者マインドの持ち直しに足踏みが見られる中、有効求人倍率の上昇に伴い、雇用の確保や雇用環境の整備等に係るコスト増が業績の下押し要因となる状況となりました。

## (直営店商品販売事業)

当事業は、主力である化粧品販売事業において消費増税後の反動減が一巡し、ハウス オブ ローゼ直営店舗では、増税後に大きく減少した既存客売上高が前年同期比で10%を上回る増加となり、ほぼ前々年の同期水準まで回復いたしました。また、広告宣伝をはじめとする各種施策も寄与し、新客売上高も前年同期を上回りました。さらにミルクィアピュアラインを中心としてスキンケア化粧品の販売強化に取り組んだ結果、スキンケア化粧品売上高の増加並びに全体の売上高に占めるシェアも増加し、それがお買上単価の上昇にもつながりました。夏場の天候不順により一時売上高が減少いたしました。ハウス オブ ローゼ直営店売上高は前年同期比8.9%増となりました。

一方ネット通販事業は、昨年11月から稼働した自社ネット通販を中心としてほぼ計画通りで進展し、売上高は前年同期比86.5%の増加となりました。

他の直営店商品販売事業を加えた当事業売上高は、54億47百万円(前年同期比8.5%増)、営業損失は20百万円(前年同期は営業損失2億45百万円)で、損失額は大幅に縮小しましたが、黒字化には至りませんでした。

## (直営店サービス事業)

リラクゼーションサロン事業(旧:リフレクソロジー事業)は、新規顧客獲得策としてハウス オブ ローゼボディケア商品を使用したコースメニューの実施や既存顧客向けの販促策を強化する等、施策の充実に努めると共に、サロンスタッフの定着率向上及びマネジメント強化のため組織変更を実施するなど改善を図ってまいりました。その結果、既存店売上高は前年同期を上回りましたが、前期末から今期初にかけて出店した新店3店舗が育成途上にあり、前期に退店した店舗の売上高をカバーするには至らず、事業売上高は前年同期比5.4%減となりました。

一方、カーブス事業は、「体力測定」等新たな施策の実施や既存会員様の紹介による会員獲得が定着し、会員数が前年同期より200名強増加するなど着実に業績を伸ばし、売上高は前年同期比2.3%増となりました。

以上、当事業売上高は8億52百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益は1億11百万円(同10.7%減)となりました。

## (卸売販売事業)

個人オーナーショップ向け卸売部門につきましては、ハウス オブ ローゼ直営店同様、消費増税後の反動減の影響が一巡、また期間限定商品の効果等により既存店舗は持ち直してまいりました。ただ、オーナーの高齢化による退店等をはじめとした店舗数の減少により、売上高は前年同期比3.5%減となりました。一方、量販店向け卸売部門は、ボディケアを中心としたMD展開での新規市場開拓を進めており、加えて期間限定商品の投入も奏功し前年同期比2.3%増となりました。また、その他一般向け卸売販売につきましては、期間限定商品や通販事業者向け売上が増加する等、前年同期比46.3%増と伸ばいたしました。

以上、他の卸売販売を加えた当事業売上高は5億59百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益19百万円(前年同期は営業損失27百万円)と黒字に転じました。

以上の結果、当第2四半期における全社売上高は68億59百万円(前年同期比7.0%増)と回復基調で推移いたしました。費用面においては、業績回復に資するべく広告宣伝の実施やスタッフの雇用に係る費用等が増加しましたが、主力のハウス オブ ローゼ直営店がスキンケア化粧品の売上増を伴って売上高が回復し、それにより売上原価率が低下したことで営業利益1億10百万円(前年同期は営業損失1億48百万円)、第2四半期純利益は42百万円(前年同期は純損失1億19百万円)と黒字化を図ることができ、消費増税による売上低迷からはほぼ脱することができました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より2億51百万円減少し、83億72百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より1億59百万円減少し、47億8百万円となりました。これは主に商品及び製品が59百万円、現金及び預金が56百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より91百万円減少し、36億63百万円となりました。これは主に差入保証金が50百万円、無形固定資産(リース資産)が29百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末より2億20百万円減少し、30億27百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1億36百万円、その他流動負債が79百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より31百万円減少し、53億44百万円となりました。これは主に利益剰余金が28百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回発表(平成27年8月3日決算短信)に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,228,670	2,171,914
売掛金	943,124	933,036
商品及び製品	1,525,681	1,465,722
その他	171,056	138,102
流動資産合計	4,868,532	4,708,776
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	407,466	399,598
土地	1,415,905	1,415,905
リース資産(純額)	77,485	65,735
有形固定資産合計	1,900,858	1,881,240
無形固定資産	130,150	100,977
投資その他の資産		
差入保証金	769,002	718,121
その他	955,522	964,048
貸倒引当金	—	△768
投資その他の資産合計	1,724,525	1,681,402
固定資産合計	3,755,533	3,663,620
資産合計	8,624,066	8,372,396
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	488,132	351,240
電子記録債務	765,979	723,235
未払法人税等	41,553	89,475
賞与引当金	185,747	190,736
その他	648,801	569,725
流動負債合計	2,130,213	1,924,413
固定負債		
退職給付引当金	918,526	948,233
役員退職慰労引当金	53,624	58,184
その他	145,999	96,897
固定負債合計	1,118,149	1,103,314
負債合計	3,248,363	3,027,727
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,105,949	4,077,565
自己株式	△428	△480
株主資本合計	6,322,424	6,293,989
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,395	46,796
土地再評価差額金	△996,116	△996,116
評価・換算差額等合計	△946,721	△949,320
純資産合計	5,375,702	5,344,668
負債純資産合計	8,624,066	8,372,396

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	6,410,757	6,859,672
売上原価	1,864,890	1,925,821
売上総利益	4,545,866	4,933,851
販売費及び一般管理費	4,694,134	4,823,216
営業利益又は営業損失(△)	△148,267	110,634
営業外収益		
受取利息	1,568	1,568
受取配当金	1,610	1,652
不動産賃貸料	988	933
その他	1,836	3,642
営業外収益合計	6,003	7,796
営業外費用		
支払利息	1,393	1,006
リース解約損	—	2,487
不動産賃貸原価	467	442
営業外費用合計	1,860	3,935
経常利益又は経常損失(△)	△144,124	114,495
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△144,124	114,495
法人税、住民税及び事業税	23,915	72,312
法人税等調整額	△48,649	26
法人税等合計	△24,733	72,339
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△119,390	42,155

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。